

いただいたご意見と区の方

令和2年度生野区区政会議(第2回こどもの未来部会)

番号	発言者	ご質問等	回答者	回答
1	榎木委員	<p>民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」についての質問及び意見ですが、課外授業の先生方が年配の先生で、指導の仕方も面白くなく、子ども達が興味が湧かないとの意見もあり、又、教育の仕方も一辺倒でレベルに合った子ども達の学力向上が見られない感じがしますとの意見もありました。</p> <p>せっかくの課外授業ですので、生きる学習をお願いできればと思います。</p> <p>塾に行けない子ども達にも気楽に参加でき、興味が湧く課外授業になればもう少し参加者も増えると思います。</p> <p>スタートしたばかりですが、色々模索しながら推進していただければ助かります。</p>	大川地域活性化担当課長	<p>民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」については、学習習慣の定着及び基礎学力の向上に向け、生野中学校、巽中学校、生野区民センターの3教室で実施しています。</p> <p>生徒3～5名に1名の講師を配置し、個別・少人数指導で、受講者の学年及び習熟度に合わせて行っていますが、ご意見を踏まえて、協定事業者に対して、学習意欲の向上等、生徒が主体的に取り組めるよう、生徒に寄り添い、きめ細かな学習指導を行うよう依頼いたしました。</p>
2	森本委員	<p>資料1のP7「生きるチカラを育む絵本プロジェクト」、素案P18「子育てにやさしく、教育につよいまち」も良い取組みかと思えます。素案P16「すべての人々の人権を互いに尊重し、認めあえる環境づくり」との更なる充実を目指して、「外国ルーツ親子のための絵本設置」も検討いただくと良いのかと思えます。</p> <p>図書館、保健所、幼稚園、子支援センター、小中学校などに外国語の絵本の設置ができると良いと思います。</p> <p>区としても予算化を望みたいですが、難しい時は、区として推奨するなどの取組を進められたらと願います。</p>	熊見地域福祉推進担当課長	<p>外国語の絵本に親しむには、身近では図書館での利用が一般的に考えられます。生野図書館には、韓国・朝鮮語400冊、中国語8冊の絵本がございます。大阪市図書館には、13言語の絵本、8,000冊以上蔵書していると聞いています。大阪市図書館では、身近な図書館に無い図書は市内の他の図書館から取り寄せることができます。</p> <p>そのほか、子育て支援センター、つどいの広場には、韓国・朝鮮語、中国語の絵本が約70冊あります。</p> <p>今後、生野区での子育て情報の発信時に生野図書館等と協同で周知することを検討していきます。</p> <p>また、生野区役所内には、キッズルームや待合場所等に、数十冊の絵本を置いています。現在外国語の絵本はありません。</p> <p>今後、予算等の関係もあり時期は未定ですが、外国語の絵本の設置をしていきたいと思えます。</p> <p>また、絵本のみならず、外国籍の方も含めたすべての方が子育てしやすいまちと感じられるよう、引き続き取り組んでまいります。</p>

番号	発言者	ご質問等	回答者	回答
3	森本委員	<p>資料1のP11で、「生野の教育」の実現」、素案P21「未来を生き抜く力の育成」も取組として賛同するところです。その中で、「学校を休んでいる児童」の人数や行き場所、そのこどもたちの課題などはどの程度把握されているのでしょうか。又、うち外国ルーツのこどもたちはどの程度の割合なのかも気になります。</p> <p>さらに、障がいのあるこども達が児童発達支援センターや特別支援学校などの個別支援を受ける割合が高くなっているように感じています。</p> <p>「仲間で育つ」ための「学校づくり」、「まちづくり」も同時に目指していけると「生野区」らしくて良いのではと思います。</p>	大川地域活性化担当課長	<p>“学校を休んでいる児童”の人数等につきましては公表されていませんが、公表されているものとして、大阪市全体の不登校数は、令和元年度で小学校1,033人、中学校3,084人となっています。</p> <p>不登校をはじめ、ご質問のような、配慮が必要な児童・生徒に関して、話を聞く等情報が入った場合は、必要に応じて、学校、教育委員会事務局と、区役所内部におきましても担当間で情報共有し、連携しています。</p> <p>区役所といたしましては、課題を取りこぼすことがないように、より一層、家庭、地域、学校、関係部署等との連携を密にし、「生野の教育」の実現に向け取組んでまいりますので、今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>